

第9回県立新発田病院跡地活用市民検討委員会 Aグループ意見一覧

発言者	意見
パブリック・コメント資料(12/1 広報しばた)について	
Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの過程も含めていくと、パブコメの資料は抽象的である ・市民にせっかく考えてもらえる資料なのに、抽象的過ぎて勿体なかった感がある ・「ホームページを見て欲しい」ということだが、市民の中では多くないと思われる
整備構想(案)について	
	<ul style="list-style-type: none"> ・加えて、中の門だけ落とされた。新発田城という捉え方からすると千載一遇のチャンス。 ・大手中の門は写真が残っているので復元が可能 ・後世の人達に汚点を残すことになる(ひいては我々の資質が問われる) ・この場所には将来の復元の可能性を残すべき(そういった主旨の表現を入れて欲しい) 例:「将来は大手中の門復元を志向し、此定地に対して最大の配慮をする」など ・樋口医院の並びにあるガソリンスタンドの前から間口を広くすると出入りが可能とも思うので、進入路の位置は再度要検討 ・道路の関連から中の門の復元が出来ないというのは矛盾している。別の場所への付け替えで可能となる場合もある ・構想案が八方を向き過ぎており、総花的である。批判を受けない案である

発言者	意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・城を残したい気持ちも分かるが、復元して何をすることが分かりにくい。ロマンを感じるが、今の人が何を学べるかを考えたうえで整備すべき ・情緒的に捉えられやすい。復元したからと言っても、観光客が来るようにすぐになるわけではないが、将来の子供達に形あるものとして、生涯学習の観点も踏まえ、自らのまちを誇れるようにしてあげるために残すべきとの考えからである ・事実としてあるのは新発田城の前にあるということ。A案・B案という形で構想案が出てくるものと期待していたが、結果的には、「緑化」に駐車場という名の「賑わい創出」が付いただけ、「歴史・文化」が付いただけである ・肝心の「賑わい創出」についての議論の中で、中心商店街の活性化等を論議していたが、構想案では、単純に、駐車場という中や空スペースを設けイベント開催するという中に「賑わい創出」という機能を持たせたという形になっている ・議論の中には「砂利敷とする」などの検討もあったが、整備構想案では「フラットなスペースとする」とだけになっている ・色々な意見を反映させたようにも見えるが、見方を変えれば、「緑化」構想の中に「歴史・文化」が入っただけ、「生涯学習」ゾーンとしては20年先に図書館・資料館が入っただけ、である ・県も観光立県に力を入れている。従って、整備構想案3頁目の「歴史・文化」においてわざわざ「(観光客誘致のためではない)」という表現をするのはいかなものか。観光は大きな産業であり、「賑わい創出」というテーマからも上記の記載は不要と思う <p>三階櫓復元の時は「観光」とはせず「教育目的」とした。しかしながら、今回は「賑わい創出」が付いてしまっている</p>

発言者	意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 20年後に「生涯学習」ゾーンを設け、図書館・資料館としているが、これが特に総花的な典型ではないか ・ 中間報告書では案1で受験生のためのデスク等を設置するという提案をしているが、決して図書館とは言っていない ・ 整備構想案全体が市民に伝わりやすい魂の入った構想とすべきであるとする ・ 「美術館のない美術館」構想については、落谷虹児記念館を主軸とした「美術の森」構想というのが現在進行中であり、学芸員を伴う構想となっている。従って、市の構想のとおり、美術館整備は外しても良い。 ・ Aゾーンでの武家屋敷復原は問題がある。当該地は本来堀であった（帯曲輪） ・ Fゾーン右端には実際には武家屋敷があった。 ・ 新発田市の“史実に基づいて復原（元）”しているイメージを崩さないためにもAゾーンでの整備はすべきではない。何も置かない方が良い ・ 武家屋敷については歴史研究家の意見を参考にすべきとする ・ まとめて、個人的には武家屋敷を復原し、史料等を置くことは良くとも、通学合宿施設としての機能を持たせ「生涯学習」とするのは異議あり。「生涯学習」は不要。「歴史・文化」のみで良いのではないか。 ・ 構想案を要約すると「緑化」と「歴史・文化」の施設（武家屋敷等）である。その中で「生涯学習」機能を備えれば良いのであって余計なものは不要。 ・ 「大手中の門については、将来の復元を志向し、此定地に対して最大の配慮をする」

テーマ別検討(参考)

テーマ	想定施設	考え方
緑化	・公園	・防犯上の観点から、見通しの良い空間とし森にはしない。(植栽程度) ・多くの市民が憩うことができ、かつ災害時の避難場所に転用できる。 ・イベントもできるスペース
	・緑地、植栽	・市民が憩える花壇。例えば、あやめ、桜を売り出すことも必要。 ・来訪者が記念樹を植える。再訪のきっかけ
防災	・災害時の緊急避難機能	・避難時の生活に必要な最低限の設備(非常用便槽、給水施設、テントサイト、緊急物資搬入場)
	・防災対応専用施設	・城下町のイメージに合わない。 ・当該地である必要性は小さい。 ・新・市庁舎の検討に委ねる。
行政サービス	・行政窓口	・新・市庁舎の検討に委ねる。
歴史・文化	・武家屋敷	・単に復元するだけでなく活用が必要。 (活用例:道学堂塾、観光案内所、資料展示所など) 場所Fゾーン(右下隅)が必要
	・堀	・単に復元するだけでなく活用が必要。 ・災害時に用水として活用する。(飲料水以外の生活用水) ・排水機能がないことから貯水池としての機能は不十分。
	・土橋門	・現新発田城に隣接し、一体的な活用が可能である 土塁もある
	・遊歩道	・表門前の市道を遊歩道として整備 ・現市道は付け替え
	・大手中の門	・単に復元するだけでなく活用が必要。 ・現新発田城と離れているため、連携した活用が難しい。 ・当該地への進入路である市道にかかるため、災害時の避難及び緊急車両の通行に支障をきたす。
生涯学習	・図書館、資料館	・学習スペースの充実 ・市史に関する資料館も併設したもの。 ・喫茶程度は有り。 ・「歴史のみち」構想との連携 ・市の「美術館のない美術館」構想から、美術館・博物館の専用施設は設置しない。 不要
にぎわい創出	・駐車場	・公園利用者、市民文化会館等周辺公共施設利用者の利用 ・イベントができるようにできるだけ段差などは作らない。
	・物産館	・公では設置しない。民間設置用スペースの検討は有り。 ・いわゆる「お土産」ではなく、地場産農産物など市民も購入できるもの。
	・市民が集える屋内空間	・行政窓口、レストランを設置しないため、それを目的とする市民は訪れない。独立した空間としては活用しない。 ・「賑わい」ではないが、生涯学習機能に「集える空間」の機能を含めて検討する。
	・レストラン	・公では設置しない。

最低限の自家発電機が必要
(電気がないと困る)

これらの機能を武家屋敷で賄うことはできないか?

固定化された建物なら不要

市民検討委員会中間報告、市民意見等で出された各基本テーマにおいて想定される施設のあり方を検討することにより、基本テーマのゾーニングの資料とした。なお、整備する具体的な施設や整備手法などの検討については、来年度以降に別途行う。